

平成19年度 事務事業評価表	担当	消防本部 予防課	内線等	2112
事務事業名	女性防火クラブ・少年消防クラブ運営事業		事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等			Eなし	

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	消防・救急
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	市民に対して
手 段	女性防火クラブ・少年消防クラブに防災及び企画運営に関する活動を助成することにより
想定する成果	地域における防火思想の普及高揚を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
女性防火クラブ員数	46人	46人	46人
少年消防クラブ員研修参加人員	22人	22人	22人
訓練研修実施回数	12回	12回	12回
訓練研修参加人員	199人	208人	

成果指標名	訓練・研修等実施回数	訓練研修参加人員
成果指標の説明	訓練・研修等実施回数	女性防訓練研修参加人員+少年消防クラブ員

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		12回				12回				12回			
成果指標		221人				230人							
事業費	事業費	354				358				663			
	人件費	1,557				1,562				1,569			
	(人数)	正規	0.2	非常勤	0.0	正規	0.2	非常勤	0.0	正規	0.2	非常勤	0.0
	合計	1,911				1,920				2,232			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	1,911				1,920				2,232			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	3	2	2	住宅用防災警報器の設置に伴う啓発活動により、戸別住宅の普及率を向上させる。(最近のアンケート調査60%)
経済効率性	3	3	2	3	住宅用防災警報器を設置することにより、火災の早期発見につながり被害が軽減される。
事務効率性	3	3	2	3	役員会を通じて、行事等の活動方針を見直し効率化を図っている。
必要性	3	3	3	3	火災による被害の軽減につながり、市民の安全安心なまちづくりのため必要である。
小計	11	12	9	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	県内において住宅用防災警報器の設置により戸別住宅の非火災事例が数多く報告されている。(蒲郡市は1件)
合計	14	12	12	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	B	B
------	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
今後も市のイベントの中で活動するなど、市民の中にとけ込んだ活動を継続したい。少年消防クラブ員(全中学校)の活動が、一日消防学校入校訓練程度のため、見直し充実を図っていく。
上記改善点の実施状況
女性防クラブ員の年間行事を含め地域のイベント等に自主的に参加しており、住警器の設置に関する啓発活動を行い市民にとけ込んだ活動を実施している。一日消防学校入校訓練の参加募集および活動等を検討している。

今後さらに改善すべき点

女性防火クラブ員の年齢層に幅を持たせたい。

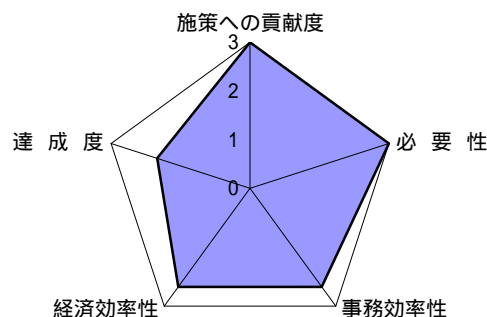
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点